

平成26年4月18日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 6件
(うちガス栓(都市ガス用)1件、石油ストーブ(密閉式、床暖房機能付)1件、
屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)1件、石油ふろがま1件、
ガスこんろ(都市ガス用)1件、ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 1件
(うちサーキュレーター1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 2件
(うち防水コンセント1件、電気ケトル1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて（管理番号A201400030）

① 事故事象について

株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまのタイマーをセットした後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空だき防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられます。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400030	平成26年4月3日	CK-11	火災	福岡県

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、修理・点検時における点検用コネクタの戻し忘れにより空だき事故が発生したことから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）7月27日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、同年7月28日に新聞社告を掲載し、点検用コネクタが付属されている全ての製品について、注意喚起及び無償点検による点検用コネクタの回収を開始しました。

また、他の対象製品と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S）については、空だき防止回路が不安定となることにより空だき防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を開始しました。

同社は、無償点検と点検用コネクタの回収等を促進するため、2009年（平成21年）10月から2010年（平成22年）3月までテレビCM放映により、また、これまで継続的に、販売店、サービス店を通じ、同社製品全般の修理・点検時に対象製品があった場合には、点検用コネクタの戻し忘れがないかの確認と回収等を徹底するとともに、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等により、対象製品の使用者に対し呼び掛けを行っています。

さらに、2013年（平成25）4月から10月までテレビCM、11月にはケーブルテレビ（全国25局）での放映、本年は2月3日から3月31日までテレビCM放映を行う等、今後も引き続き呼び掛けを行っていくこととしています。

③ 対象製品：品目、機種・型式、対象製造期間、対象台数

品目	機種・型式	対象製造期間	対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (ハナ-ナ-型式：BM-71K、BM-71KT) (セツト型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	1984年7月 ～ 1991年9月	243,420台
	JPS-T3、JPK-N3 (ハナ-ナ-型式：BM-73K) (ハナ-ナ-製造番号 000001～238930、 500002～588761が対象)	1991年8月 ～ 2001年9月	257,603台
	CK-8、CK-8E	1985年1月～ 1992年5月	23,815台
	CK-9、CK-9E	1985年11月～ 1987年7月	3,840台

	CK-10、CK-10S (製造番号 000001～040080が対象)	1986年12月～ 2001年9月	54,181台
	CK-11、CK-11S	1987年4月～ 1999年10月	111,085台
	小 計		693,944台

追焚付石油給湯器	JIB-T	1984年11月～ 1988年1月	3,150台
	JIB-2T	1984年10月～ 1988年7月	9,093台
	JIB-4	1983年4月～ 1984年8月	4,323台
	JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	1983年11月～ 1986年7月	12,990台
	JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	1986年3月 ～ 1988年4月	30,333台
	JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	1987年12月～ 1991年12月	39,134台
	小 計		99,023台
合 計		792,967台	

(注) ※印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部には、バーナー型式名、取扱説明書には、セット型式が表示されています。

2007年(平成19年)7月27日からリコールを実施
改修率：33.7%(2014年3月31日現在)

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号A201400030)発生以前に、2010年度以降同社が製造した石油ふろがまにおけるリコール対象の内容による事故(調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。)の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2013年度	3	火災	2011年度	7	火災
2012年度	5	火災	2010年度	1	火災

対象製品外観及び確認方法

《型式表示場所》 ※ 図は一例ですが、本体正面または側面に型式名の表示があります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社長府製作所

電話番号：0120-911-870

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html>

(2) 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）について
（管理番号A201400033）

① 事故事象について

株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400033	平成26年4月6日	TA-097UET	火災	大阪府

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）4月19日からウェブサイトによる周知（2013年3月7日再周知）とともに、使用者へのダイレクトメールの送付や電話連絡等によりこれまで継続的に注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等の交換）を実施しています。

なお、今後も更なる無償点検・部品交換の促進に向けて取組を強化することとしています。

③ 対象製品：会社名、機種・型式、対象製造期間

会社名	機種・型式	対象製造期間
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

注：対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品があります。

2007年（平成19年）4月19日からリコールを実施

改修対象台数 39,337台

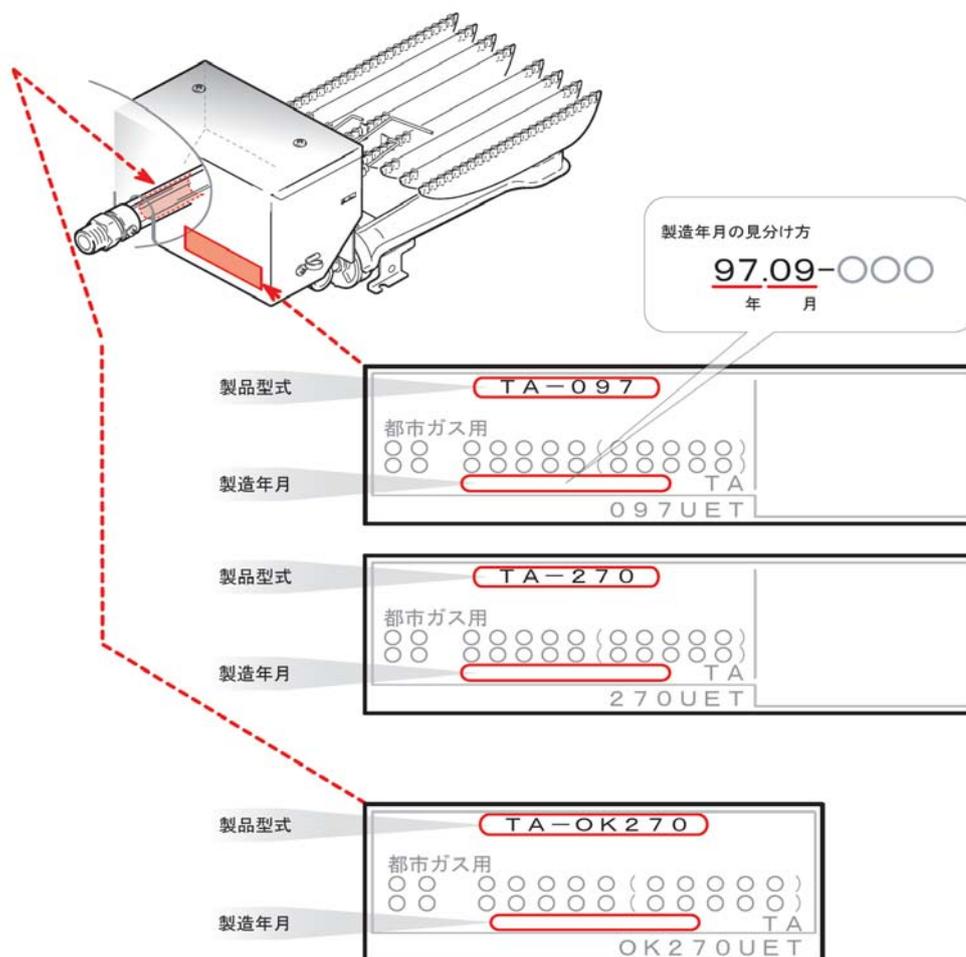
改修率 74.1%（2013年12月31日現在）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400033）発生以前に、2010年度以降同社が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）におけるリコール対象の内容による事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2013年度	8	火災	2011年度	1	火災
2012年度	7	火災	2010年度	4	火災

対象製品の外観及び確認方法



対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社世田谷製作所

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/>

東京ガス株式会社

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ウェブサイト：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

株式会社オカキン

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.okakin.com/news/0.html>

株式会社ハーマン

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについての発表資料
に関する問合せ先)

(株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー (都市
ガス用) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400027	平成26年3月15日	平成26年4月14日	ガス栓(都市ガス用)	G745-12R	光陽産業株式会社	火災	当該製品に接続したガスこんろを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	群馬県	製造から20年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは、4月8日 3月17日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 3月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400028	平成26年3月30日	平成26年4月14日	石油ストーブ(密閉式、床暖房機能付)	UHB-TP1020	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため当該製品の消火操作をした後に、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201400029	平成26年4月5日	平成26年4月14日	屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	TP-FP204SZR	高木産業株式会社(現 パーパス株式会社)	火災	当該製品の上に載せていた可燃物(クーラーボックス)を焼損し、当該製品を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201400030	平成26年4月3日	平成26年4月15日	石油ふろがま	CK-11	株式会社長府製作所	火災	当該製品のタイマーをセットした後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ(空だき防止装置を働かせないようにするもの)を修理・点検後に戻し忘れたため、空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	福岡県	製造から15年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 33.7%
A201400031	平成26年3月15日	平成26年4月15日	ガスこんろ(都市ガス用)	IC-KN690F-L	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	火災	当該製品で調理中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	山口県	

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400033	平成26年4月6日	平成26年4月16日	ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)	TA-097UET	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	大阪府	平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 74.1% 4月8日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 4月17日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400032	平成25年3月19日	平成26年4月15日	サーキュレーター	EAC-2	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品の電源プラグを延長コードの差込み口に差したところ、当該製品の電源コード部から火花が生じ、左手を負傷した。現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、平成26年3月19日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400026	平成26年4月1日	平成26年4月14日	防水コンセント	火災	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	奈良県	製造から20年以上経過した製品
A201400034	平成26年3月25日	平成26年4月16日	電気ケトル	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	千葉県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

サーキュレーター（管理番号：A201400032）

